

2021年度第4回豊岡市環境審議会 会議録

日 時：2022年3月17日（木）14時～15時45分

会 場：豊岡市役所本庁3階 庁議室

出席した委員：山室敦嗣、雀部真理、土川忠浩、木築基弘、西垣由佳子、
菅村定昌、洞田美津子、山田博文、毛戸 勝、戸田勝之

欠席した委員：内海京子、野世英子、島崎邦雄、中村 肇、山下正明

事 務 局：市民生活部長 谷岡慎一、生活環境課長 成田和博

地球温暖化防止対策室長 井上浩二、大逸優人、岸谷依子

1. 開会（司会：井上室長）

- ・会議の公開、会議録の公表を確認
- ・配布資料の確認

2. あいさつ

- ・山室会長より挨拶

3. 報告及び意見交換（議長：山室会長）

(1) 豊岡市再生可能エネルギー導入戦略について

【事 務 局】豊岡市再生可能エネルギー導入戦略について説明

【会 長】策定後、2年以内に豊岡市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）を改定するため、現段階でご意見をいただきたい。

【委 員】豊岡らしさや但馬らしさ等エリアの特性が計画に出ていないように思える。もう少し計画の中で豊岡の特性を出してほしい。

【委 員】計画には地中熱利用と書いてあるが、豊岡らしさで考えると、温泉熱の利用や冬季の融雪を取り入れることも考えるべきではないか。今の計画だと、どこでも当てはまるような内容に思える。

【委 員】大規模太陽光発電で崩落事故が起きたり、更新の際にメンテナンス費が高くなる等、太陽光発電を設置する上で多くの課題がある。こうした課題がある中で、設置基準について豊岡独自の基準はないか。再生可能エネルギーの導入を進めることは良いと思うが、進めることで二次災害が生じるのでは元も子もない。

【事務局】兵庫県が独自で太陽光発電整備についての条例を持っているため、豊岡市では現時点で条例を設ける予定はない。

【委員】熱海で起きた土砂崩れの例を受け、太陽光発電を規制する条例が増えつつあり、設置基準についても徐々に厳しくなっている。

【委員】太陽光発電の設置を推進するにあたり、市で意見をとりまとめる窓口がないのであれば、市内の施工業者と連携して、現場の声を通しやすくする工夫が必要に思える。

【会長】ちなみに、太陽光発電について問題やトラブルがあった際は、どこに連絡をすればよいのか。

【委員】兵庫県が対応している。

【会長】県だけでなく、市で対応することも検討すべきではないか。

【委員】養父市では、養父市企業等振興奨励制度があり、商用車として次世代自動車（燃料電池自動車、電気自動車、天然ガス自動車、ハイブリッド自動車、クリーンディーゼル車）や低燃費かつ低排出ガス認定自動車等を購入する際に、車両価格の10%以内の額で補助が出る。市民や事業者が利用できるような補助について検討し、情報提供や周知を積極的に行ってほしい。

【委員】太陽光パネルを設置する際の課題として、古い屋根への設置が難しいため既築の屋根への設置が減っている。太陽光パネルは30～40年くらいもつため、既築の建物だと太陽光パネルよりも耐久年数が短い。

【委員】計画の内容が難しく、導入していく中でどのような問題があるのか、この内容で進めていって大丈夫なのかどうか分からない。

【事務局】計画は市民向けに作ったものではないので、豊岡市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）を改定する際に分かりやすい内容で記載する。

【事務局】（現状、世界の気温が2度上がろうとしていることから、私たちの生活や活動は間違っていたと認識できる。）豊岡市で2050年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロにするために何をすべきか。まずは、再生可能エネルギーの導入

ポテンシャルについて把握するというのがこの計画の趣旨。

(2) 豊岡市プラスチックごみ削減対策実行計画について

【事務局】 豊岡市プラスチックごみ削減対策実行計画について説明

【委員】 ロシア製の注射器が海岸に漂着したと聞いた。これまで何度か清掃活動を行ったが、韓国語や中国語が書いてあるごみがとても多かった。

【事務局】 ロシア語が書かれた中国製の注射器は1500本以上回収した。日本同様、他国の海には日本語が書かれたごみが流れ着いていると思う。流れ着いた国で処理するため、漂着した注射針に関しても、豊岡市で処理するように進めている。

【委員】 どの項目においても「知る」というキーワードが肝になる。

【委員】 城崎にあるコンビニエンスストアに行ったら、「お客様からカトラリーを希望される場合のみ提供します」と張り紙がしてあった。業界の大きいところは進んでいる。また、城崎にあるアイスクリーム屋さんでは、木を圧縮して作られたスプーンが使われており、環境への配慮に対して意識が高く感じられた。

【事務局】 城崎温泉旅館協同組合にプラスチック製品の利用削減について説明に行く。インバウンドが多い地域なので、使い捨てプラスチックを使うことがまちの品位を下げることに繋がりがねない。ほかの地域についても観光協会を通して、使い捨てプラスチックごみ削減の啓発をしていく。

【委員】 グローバルでは使い捨てプラスチックごみ削減の意識は本当に進んでいる。使い捨てプラスチックごみ削減に関することで、4月16日（土）開催予定の菓子祭前日祭で、高校生が作った新聞バッグを出店者に提供する予定。

【委員】 道路にお弁当やお菓子のごみがとても多くある。クリーン作戦ではごみを拾ったら処理してもらえるが、それ以外の時に拾ったごみについては、ボランティア袋を使うように伝えている。ただ、ボランティア袋を使うシステムや拾ったごみを捨てる場所が分かっていない市民が多い。

【委員】 通学中にごみを拾っても、捨てる場所がない。学校にごみ箱を置いてもらう

ように進めている。

【事務局】 いただいたご意見についてこちらも課題と認識している。大規模なボランティア活動でごみを拾っていただく際は計画書を出していただくようにしているが、小規模なごみ拾いについても対応ができるようにしたい。時間はかかることだと思うが改善していきたいと考えている。

(3) 市長面会

【会長】 環境審議会終了後に市長へ面会する。第6部が環境審議会の意見で、市全体の環境をよくするために必要な提言となっているため、出た意見を各部署で共有できる仕組みを作ってほしいと伝える。そのほか意見があれば、この場で提案いただきたい。

【委員】 環境審議会が他部署へ影響力があるような会になってほしい。「小さな自然再生」を本気で取り組んでほしい。

【委員】 豊岡市環境経済認定制度があるので、もっとこの制度について注目されるようにしてほしい。

【委員】 学校給食が民間に委託される。これまでの学校給食のように畑でとった野菜を使う等自由な食育ができるのか心配。

【委員】 韓国では給食は無料で提供され、使われる野菜は無農薬。妊婦さんもオーガニックのものを食べる。比べて日本は遅れているように感じている。

4. その他

【事務局】 今年度をもって環境審議会の任期が終わる。ジェンダーギャップ解消のため男女比を考慮した委員選考を行う。

【会長】 退任される委員から挨拶をそれぞれいただきたい。

～土川委員、菅村委員、山田委員、毛戸委員挨拶～

5. 閉会

・雀部副会長あいさつ